

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 根内 通信

—— 2025 年 4 月号 No.343

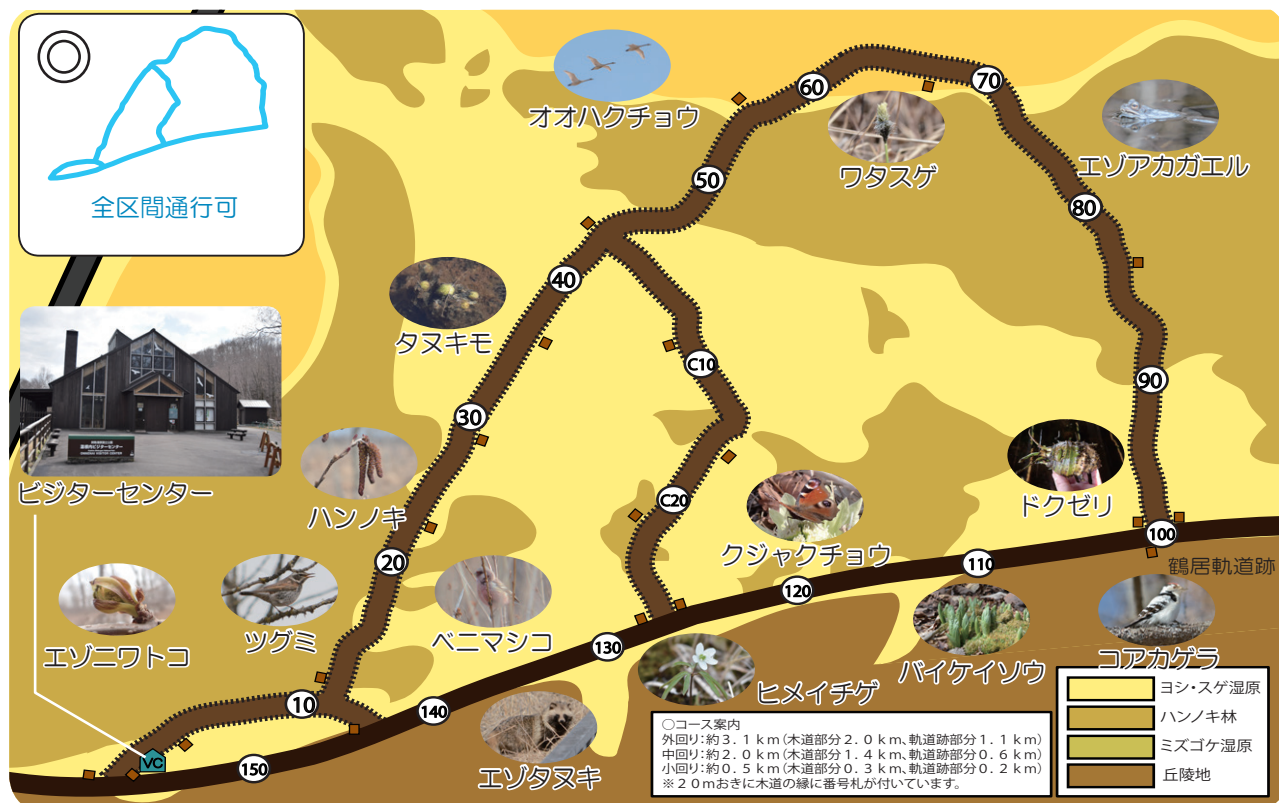
4 月 15 日（火）発行 ——



愛嬌たっぷり コアカゲラ

鶴居軌道跡を歩いていると、弱々しく「キョ、キョ…」という声が聞こえました。これはひょっとしてと思い、声の主を探していると、アカゲラよりも一回り小さいキツツキ、コアカゲラのオスがいきました。滅多に見る機会のないキツツキで、国内では道東地方を中心とした北海道でしか見られない種です。この時は夢中で餌を探しており、羽の模様までくまなく、じっくり観察させてもらいました。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（3/15～4/14） ☆☆☆



【ワタスゲ】

カヤツリグサ科 綿菅

ミズゴケ湿原で先陣を切る植物。筆のような先端部から花粉を出しています。初夏に見られるのは実です。



【エゾニワトコの冬芽】

ガマズミ科 蝦夷接骨木

ほころぶ葉芽から将来花をつける花芽が顔を出していました。このような形の冬芽を「混芽」といいます。



【ヒメイチゲ】

キンボウゲ科 姫一華

やちぼうすの上など、少し湿った環境を好みます。春の訪れを告げる可憐な花です。



【エゾタヌキ】

イヌ科 蝦夷狸

こちらに気づいて申し訳なさそうに去っていきました。湿原のエゾアカガエルを狙っていたようです。



【エゾアカガエル】

アカガエル科 蝦夷赤蛙

今が繁殖期のピークでオスの声が湿原に響き渡ります。人が近づくと鳴くのをやめ、水中に身を隠します。



【クジャクチョウ】

タテハチョウ科

アキタブキを訪花していました。成虫で無事に越冬し、暖かくなって動き出しました。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（3/15～4/14） ☆☆☆

雪が解けて釧路湿原に春の陽気が訪れています。ベニマシコやオオジュリンといった夏鳥が姿を見せていますが、今はカラ類の囀りやアカゲラのドラミングなど、留鳥の繁殖行動がメインで聞こえてきます。一方、ツグミやマヒワなど、冬期によく見られていた種もまだ確認できています。これから5月にかけて続々と夏鳥がやってきて、さらに賑やかになっていくでしょう。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。気軽にお声がけください。



【ベニマシコ】 夏鳥（一部越冬）
アトリ科 紅猿子
オスは目立つ赤色をしています。夏鳥ですが、越冬している個体もいるようです。ピ・ポ！の音が特徴。



【オオハクチョウ】 旅鳥（一部越冬）
カモ科 大白鳥
これから繁殖地へ戻って行きます。温根内木道から見える水辺で休憩している時もあります。



【ツグミ】 冬鳥
ツグミ科 鶇
そろそろ北へ戻って行くタイミングですが、まだ温根内周辺で見られています。群れで行動しています。

○温根内木道周辺で観察された花・鳥（3/15～4/14）

花（和名は五十音順）		1	ヒシクイ	14	アカゲラ	27	キバシリ
1	アキタブキ	2	オオハクチョウ	15	オオアカゲラ	28	ツグミ
2	ウラボロイチゲ	3	タンチョウ	16	ヤマゲラ	29	キセキレイ（4/13 初認）
3	キタミフクジュソウ	4	タシギ（3/28 初認）	17	ハシボソガラス	30	タヒバリ
4	キヌヤナギ	5	アオサギ	18	ハシブトガラス	31	アトリ
5	ケヤマハンノキ	6	ハイタカ	19	ヒガラ	32	シメ
6	ナガバヤナギ	7	トビ	20	ハシブトガラ	33	ベニマシコ（3/27 初認）
7	バッコヤナギ	8	オオワシ	21	シジュウカラ	34	カワラヒワ（3/24 初認）
8	ハンノキ	9	オジロワシ	22	ヒバリ（3/24 初認）	35	マヒワ
9	フクジュソウ	10	ケアシノスリ	23	ヒヨドリ	36	カシラダカ
10	ミスバショウ	11	ノスリ	24	エナガ	37	オオジュリン（4/5 初認）
11	ワタスゲ	12	コゲラ	25	ミソサザイ		
鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		13	コアカゲラ	26	ゴジュウカラ		

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「温根内の歴史を探訪しよう」3月16日 参加者：14名 講師：佐藤光則（元塘路湖 EMC 指導員）

国立公園に指定された頃から温根内をはじめとする釧路湿原を見守り続けてきた佐藤氏に講師をお願いし、この30年程度の間に温根内周辺の環境がどのように変わってきたかを、散策しながら探訪しました。佐藤氏が90年代当時に撮った写真と現状を見比べると、例えば木道の入り口ではハンノキを中心とする木々が生い茂り、見通しが悪くなっていることがよく分かりました。また旧鶴居軌道沿いの丘陵地は土石採取に用いられ、当時は禿山のよ



うな様相で、さらにその土砂は新釧路川右岸堤防の増強に使われたという話に参加者も驚いていました。湿原の植物も分布を少しずつ変えて移り変わっていくことも、写真とともに紹介していただきました。また、もっと昔の話題として、佐藤氏からは湿原周辺の遺跡から採掘された土器の欠片なども紹介いただき、参加者に実際に触ってもらいつつ、当時の地形や人々の暮らしを想像してもらいました。歴史を探訪していろいろなことが見えてきた散策会となりました。



☆☆☆☆ トピック 温根内でヒグマを目撃しました ☆☆☆☆

3月27日、いつものように巡視をしていると、鶴居軌道跡の木道上にべったりと、大きな足跡がついていました。見た瞬間、「**ヒグマの足跡だ…!**」とわかるそれは、水分がほとんど乾いておらず、ついさっき湿原から上がってきたようなきわめて新しい足跡。思わずこの時点で背筋が凍りました。そのあたりにいるかもしれない、恐る恐る周囲を見渡してみました。すると100mほど向こうの丘の斜面で何か黒いものがわずかに動いた気がしました。**双眼鏡を向けてみると・・・いました。**これが温根内で初めて見た、実物のヒグマでした。地面の何かを食べていて、こちらには気づいていない様子でした。この後、VCに待機中の職員にすぐ連絡し、私もその場を去りVCに戻りました。ヒグマの足跡をよく見るのは夏場がほとんどなので、このような春の時期に、しかも実物に出くわすとはさすが



に驚きでした。このヒグマ目撃後は安全確認が取れるまで木道を閉鎖し、4月14日現在は通行できるようになっています。

皆さんも北海道はヒグマの生息地であることを念頭に、野外散策の際は熊鈴をつけたり、複数人で歩くなど、**ご自身で身の安全を守るためのヒグマ対策を、どうか心掛けてください!**(温根内 VC 指導員 藤原伸也)



↑望遠レンズで撮影したヒグマ



拡大写真→

☆☆☆☆ イベントのご案内 (5月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月18日(日) 8:00～10:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔集合場所〕温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わい。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎! 双眼鏡も無料でお貸しします。



○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪新緑直前の樹木を見てみよう

〔日時〕5月3日(土) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪塘路湖東端秘境の砦(チャシ)探検

〔日時〕5月17日(土) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔集合場所〕9:30に塘路湖エコミュージアムセンター

～熊鈴をレンタルできます～

館内では熊鈴を無料で貸し出ししておりますので、ご希望の方はカウンターまでお越しください。万が一ですが、ヒグマの痕跡を見つけたり気配を感じたときは、落ち着いて行動し、その場を静かに去りましょう。



月刊 温根内通信 No. 343

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

fFacebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料